

「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナー」を開催

2013 年 11 月 22 日

11月22日(金)にがん進展制御研究所棟4階会議室において、中国復旦大学上海がんセンター 李影奕先生を迎え、「The roles of Pim-3 in pancreatic carcinogenesis and gemcitabine chemoresistance」と題して、金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナーを開催しました。

セミナーでは、セリン／スレオニン・キナーゼPim-3の膵臓がん細胞内での発現調節機構とPim-3の抗がん剤耐性機構での役割について講演して頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら25名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われ、とても有意義な講演会でした。



講演者:

李 影奕 博士

(復旦大学上海がんセンター)

演題名:

The roles of Pim-3 in pancreatic carcinogenesis and gemcitabine chemoresistance

日時:

平成25年11月22日(金)17:00～18:00

場所:

金沢大学・がん進展制御研究所・会議室(4階)

李博士は、本研究所で学位取得し、博士研究員としてセリン／スレオニン・キナーゼであるPim-3の研究に従事された後に、2009年に復旦大学・上海がんセンターへ移られました。中国帰国後もPim-3を中心とした研究を活発に行われています。今回本研究所の外国人研究員として滞在されていることを利用し、中国帰国後の研究を中心に、日本語にてお話ししていただく予定です。